

歯科医師石櫻会会報

第15号

発行 ■ 歯科医師石櫻会事務局 〒020-0837 盛岡市津志田町2-1-70 くまがい歯科クリニック内 TEL/FAX: 019-632-1188 題字: 横澤 昭平

「石櫻の集い 待ちわびる日々」

歯科医師石櫻会
会長 中野 廣一



桜花爛漫の候、会員の皆様には健やかに過ごしのことと心からお慶び申し上げます。

三年を越すこのコロナ禍、いまだにつづくロシアのウクライナ侵攻、それに伴う物価の上昇、中国の我が国を含む近隣諸国や台湾への軍事的威嚇、北朝鮮の度重なるミサイルの発射など、不穏で重苦しい年がつづいております。

一方、歯科界では明るい話題もありました。昨年6月「経済財政運営と改革の基本方針2022」に国民皆歯科健診の具体的検討の推進が盛り込まれました。

長年の懸案でありました国民皆歯科健診の実施が確実に前に進んだこととなります。またこのことは、口腔の健康が、健康長寿の延伸や医療ニーズの総量を減らすことにつながることを国民や政府が認識したことに他ならず、誠に喜ばしい限りです。

さて、新型コロナウイルス感染症は3年半を経てやっと収束の兆しがみえて参りました。政府は新型コロナウイルスの感染症法上の扱いを5月8日から2類から5類に引き下げることを決定いたしました。状況の好転を受けて、本会では3年にわたり書面表決とさせていただいておりました総会を本年度は実開催、また講演会および懇親会も開催することといたしました(別紙参照)。

会員の先生方、同じ石櫻の学舎を巣立った者同士、共に学び、旧交を温めるためにご参集下さい。

講演会講師の竹田浩人先生(新33回生)、岡田伸男先生(新44回生)3年間お待たせいたしました。会員も久方ぶりの講演会を楽しみにしております。新知見も加えた熱きご講演を宜しくお願いいたします。

特に県外会員の先生方、ニューヨークタイムズ紙で盛岡市が今年訪れるべき都市の第2位(第1位はロンドン)に選出されました。これを機に母校のある盛岡に足を運んでみてはいかがでしょうか。ご参加をお待ちしております。

掲載内容

- ・ 巻頭言
- ・ 臨床トピックス&ヒント
小松 世潮 先生
(新19回生)
- 大平 明範 先生
(新33回生)
- ・ 石櫻トピックス
- ・ 役員名簿
- ・ 幹事会記録
- ・ 事務局からのお知らせ
- ・ 編集後記



※QRコードで石櫻同窓会HP内、
歯科医師石櫻会のページにアクセス
できます。



臨床トピックス&ヒント

今回、会報15号では歯科医師石櫻会会員の先生から臨床についてご寄稿いただきました。
ご寄稿いただいた先生方、ありがとうございました！！



『4Sコンセプトの実践』 小松 世潮 先生 (新19回生) 盛岡市開業 小松デンタルオフィス

Implant 治療に携わり 30 数年になりました。チタンに始まり、HA そしてまたチタンに回帰しました。私が口腔外科出身で、AAP の Dr. S. Wallace の Sinus Lift Seminar をシリーズで受講したことなどもあって、GBR、CTG、FGG そして Sinus Lift が最も好きな分野になりました。しかし、手術を受ける患者さんの様々なストレスや通院回数、時間などを考えると、仕方がないこととはいえ、かすかな「違和感」を感じながら過ごして参りました。しかし4年ほど前から林 揚春先生の推奨する「4S コンセプト」を行うようになり、「This is it !」と確信いたしました。4S はすなわち、Short (短期間治療)、Simple (複雑な治療をシンプルに)、Small (最小限の侵襲)、Safe (安全) の患者目線で優しいインプラント治療です。その第1ステップは two-staged 法から one-staged 法にすることです。そして wide、short 第5世代の Implant により、さらに低侵襲かつ短期で予知性のある治療へと進化していくものと確信しています。

症例を提示いたします。患者は 48 歳女性。「右下のつめものがとれた」を主訴に来院されました (写真 1)。#46 の歯根破折で槽間中隔から遠心根周囲に骨欠損が見られました (写真 2)。Implant による治療をご希望されましたので、#46 抜歯即時埋入したところ、ISQ 70~77 の初期固定が得られたので、PEEK Abutment とプロビを装着し、手術を終了しました (写真 3)。術後 10w で印象。13w で Zr. Screw-retain の Final を装着しました (写真 4)。患者さんのご都合が良ければ 8w で印象、10w

で Final も可能と考えております。ただ早ければ良いとは思いませんが、短期間で終了することは患者さんにとって大きなメリットと考えています。

皆様のご意見が自由に伺える日が一日も早く来ることを希望しています。



写真 1



写真 2



写真 3



写真 4

小松世潮 (こまつ・よしお)

1973年 日本大学歯学部卒業、同年 札幌医科大学口腔外科入局
1981年 札幌医科大学 医学博士 1982年 日本口腔外科学会認定医
1986年 盛岡市名須川町にて開業 2000年 日本臨床口腔外科医会理事



『歯科医師が知るべき 心身・精神医学』 大平 明範 先生 (新33回生) 花巻市開業 おおひら歯科医院

昭和から平成、令和と時代の変化とともに歯科医療の在り方も変わり、治療中心から予防、そして口腔と全身との関係について医科と連携し診ていくという流れになっています。

その一方で、口腔と心身・精神的な関わりについては、なおざりにされている感があります。

心身・精神医学における疾患には、1. 認知症や頭部外傷など

の「脳のダメージ」によるもの、2. 統合失調症や双極性障害などの「脳の機能異常」によるもの、3. 適応障害や PTSD などの「心理的なストレス」が主な原因によるものがあります。

歯科には、舌や唇がヒリヒリする (口腔灼熱症候群)、執拗に口臭がすると訴える (自臭症)、芸能人の舌癌を知り自分も心配だ (癌恐怖症)、口が開かない?・口を開けたくない? (顎関節症?)、ショックな出来事があり、味がしなくなった (味覚障害)、電話で「歯が痛いけど歯医者が嫌いなのでどうしたらいいでしょう」(歯科治療恐怖症)などの心理的要因の関与が疑われる患者が訪れます。

さらに、「被せ物の中に盗聴器が仕掛けられている」「歯から牛乳がでる」「歯がかゆい」「痛いところが移動する」「親知らず

を抜いたら体が曲がってきた」など、理解に苦しむような訴えをする患者もいます。

これらの患者を「頭のおかしな患者」「厄介な患者」として、相手にしないことが多いのではないのでしょうか。

しかし、歯周病やう蝕の痛みを「歯がかゆい」と表現することもあり、また、上顎臼歯の歯痛を訴え複数の歯科医院を受診したが「なんでもない、気のせい」と相手にされず、当院を訪れた際に上顎洞癌による非歯原性歯痛と診断 (後に県立中部病院で確定診断を得た) したこともあるので、安易に厄介な患者と決めつけるのは避けるべきです。

当院では、心身・精神的な問題が疑われる場合、まず医療面接での話し方や内容、表情、目つき、全体的な雰囲気などを診ます。その上で GHQ (The General Health Questionnaire)、CMI (Cornell Medical Index)、HADS (Hospital Anxiety and Depression Scale) や YG 性格検査 (矢田部ギルフォード性格検査) などの質問紙法で、心理的側面を客観的かつ定量的に評価します。

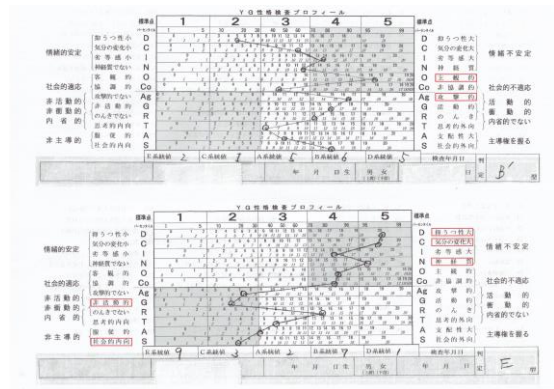
GHQ は軽度な精神障害をスクリーニングする目的で使い、CMI は短時間で患者の状態を把握でき、HADS は患者のもつ様々な身体症の影響を受けず抑うつや不安を測定でき、YG 性格検査は被検査者の特性を詳細にまたは総体的に判定することができる特徴があります。

心の問題は非常にデリケートな領域であり、誤った対処方法を取るとかえってダメージが深くなり、症状を悪化させてしまう恐れがあります。質問紙法を用いて、客観的に何がどのように悪いのかを知り、必要があれば専門医に診てもらうことが重要です。

厚生労働省は、国民の健康を保持するために広く継続的な医療を提供すべき疾病として、「がん」「脳卒中」「急性心筋梗塞」「糖尿病」の4種類に加え、2011年から新たに「精神疾患」を追加して対策に力を入れています。

これからの医療は、患者の心理や社会的側面なども含めて幅広く考慮しながら、個々人に合った総合的な疾病予防や診断・治療を行う、いわゆる全人的医療が行われるようになると思われます。

これは歯科も例外ではありません。まずは患者の訴えにじっくりと耳を傾けることが大切です。



YG 性格検査 (矢田部ギルフォード性格検査)

大平明範 (おおひら・あきのり)

1990年 岩手医科大学歯学部卒業、同年 岩手医科大学歯学部口腔外科学第二講座副手 1991年 八戸赤十字病院口腔外科 1995年 岩手医科大学歯学部口腔外科学第二講座助手 2002年 岩手医科大学歯学部 口腔外科学第二講座講師 2003年 岩手医科大学歯学部顎関節外科外来兼講師 2007年 JA秋田厚生連雄勝中央病院口腔外科科長 2015年 花巻市にて開業

石櫻トピックス

菊池健生氏 (新 61 回生) 岩手日報記者が第 63 次南極地域観測隊に同行
菊池氏は 2009 年に岩手高校を卒業し東北学院大学を経て 2013 年に岩手日報社に入社。編集局報道部畑を歩んできた。2021 年 6 月の政府の南極地域観測統合推進本部会議で第 63 次観測隊のメンバーが決定。菊池氏が地方誌記者として初めて越冬隊に同行することとなった。同氏が国連の持続可能な開発目標 (SDGs) や大学研究室に関する連載企画を担当していたことも高く評価された。2021 年 11 月に南極観測船「しらせ」で日本を出港し 12 月に昭和基地に到着、2023 年 3 月に帰国する予定。(中野廣一 記)

菊池健生氏 (岩手日報記者) 岩手高校在学時山岳部主将
平成 19 年度 第 49 回岩手県高等学校新人大大会登山大会 男子学校対抗の部 優勝 男子チーム対抗の部 優勝
平成 20 年度 第 60 回岩手県高等学校総合体育大会登山競技 男子団体第 2 位 東北学院大学卒業



役員名簿

(任期: 令和3年4月1日~令和5年3月31日)

- 会長 中野廣一
副会長 赤坂俊彦 (会計兼任)、上原 豊 (学術兼任)
幹事長 西郷史郎 (広報兼任)
幹事
学術 青木修治, 上原 豊, 岡田伸男
会計 赤坂俊彦
庶務 熊谷哲也, 大久保卓也, 小山田晃
名簿 波紫修一, 高橋賢司, 岡田伸男 (学術兼任)
記録 亀田幸宏
広報 関 克典, 西郷史郎, 田中崇一
地区 道又 元, 佐々木正博
学内 斎藤 海, 三善康矢
監事 村上 修, 小豆嶋正典
顧問 岡田宗二, 横澤昭平, 山田康平
田中健一, 小山田榮二

(敬称略)

幹事会記録 (抜粋)

令和4年度第1回幹事会

日 時：令和4年9月9日 (金) 書面会議
出席者：中野廣一会長、赤坂俊彦副会長、幹事長、全幹事、両監事、全顧問

1. 報告事項

(1) 事業報告・訃報 (令和4年2月20日～9月6日)

令和4年2月20日 令和3年度第1回幹事会 (書面会議)。3月7日 三田透先生 (新20回生) ご逝去 (74歳)。5月6日 第14号会報、会員名簿、総会・講演会中止案内等発送 (114件)。9月5日 本部石桜会より石桜同窓会設立90周年記念事業へ寄付願い。9月6日 令和4年度第1回三役会 (対面開催)。

(2) 会計報告 (令和4年度会計収支中間報告)

(3) 第14号会報報告

令和4年5月6日発送 (同封:会長挨拶文、会員名簿、活動報告・事業計画書、収支決算書、監査報告書、年会費納入願い、名簿記載内容変更届け用紙、本部石桜会設立90周年記念事業案内・広告・寄付願い書)、130部印刷、114部発送。

(4) 令和5年度総会・講演会

2023年6月10日 (土) (ホテル・メトロポリタン本館)、実開催予定。内部講師1:岡田伸男先生 (新44回生)、内部講師2:竹田浩人先生 (新33回生)。

2. 審議事項

(1) 第15号会報の内容等に関する件

臨床トピックス&ヒント、石桜トピックス等の掲載事項を審議。

(2) 本部石桜会設立90周年記念事業への広告・寄付に関する件
90周年記念事業への広告・寄付願いがあり、本会会則第2条に本会は母校の発展に寄与すると謳っていることから、広告枠で5万円、寄付枠で5万円の計10万円が妥当であろうとする案が出され、幹事会 (書面会議) にて承認。

令和4年度第2回幹事会

日 時：令和5年3月10日 (金) 19:00～
(ホテル・メトロポリタン本館)

出席者：中野廣一会長、赤坂俊彦、上原豊副会長、西郷史郎幹事長、亀田幸宏、青木修治、波紫修一、大久保卓也、岡田伸男の各幹事、村上修、小豆嶋正典の両監事、田中健一、小山田榮二両顧問

1. 報告事項

(1) 事業報告・訃報 (令和4年9月14日～令和5年3月8日)

令和4年9月14日 令和4年度第1回幹事会 (書面会議)。9月21日 石桜同窓会設立90周年記念事業への広告・寄付。10月20日 田中健一先生 (新20回生; 元会長・顧問) 御母堂様、田中崇一先生 (新47回生; 幹事) 御祖母様ご逝去。令和5年1月25日 令和4年度第2回三役会 (対面開催)。3月10日 令和4年度第2回幹事会 (ホテル・メトロポリタン本館)。

(2) 会計報告

① 令和4年度会計中間報告、会費納入状況等

(収入) 収入合計 260,012円 内訳:会費収入 250,000円 (年会費 5,000円×50)、寄付 10,000円 (笠原一臣先生)。

(支出) 支出合計 224,908円 内訳:資料作成費・送料、雑費 91,088円、自動振替手数料 6,820円、香典 5,000円、生花 22,000円、寄付 100,000円 (石桜同窓会設立90周年記念事業)。

(収支) 過年度繰越金合計 1,351,670円、令和4年度繰越金 35,104円、繰越金合計 1,386,774円。

② 本部石桜同窓会創立90周年記念事業への寄付報告

令和4年9月5日三役会、9月14日幹事会の議を経て、100,000円 (広告 50,000円、寄付 50,000円) を寄付 (9月21日)。

(3) 第15号会報関連報告

令和5年4月上旬に印刷所に入稿し、4月中旬に発送予定 (同封:会長挨拶文、令和5年度総会・講演会案内、活動報告・事業計画書、収支決算書、監査報告書、会長・監事立候補届出書、年会費納入願い)。

(4) 会員名簿関連報告

昨年度 (令和4年) に本名簿発行 (114件送付)、次回名簿は令和8年を予定。

(5) 役員指名関連報告

会則第10条 副会長、幹事長及び幹事は会長が指名、顧問は役員会で推薦し総会に報告し会長が委嘱 (役員名簿前ページ参照)。

2. 審議事項

(1) 令和5年度第総会、講演会等に関する件

実開催にて行うことが承認 (2023年6月10日 (土)、ホテル・メトロポリタン本館。内部講師1:岡田伸男先生 (新44回生)、内部講師2:竹田浩人先生 (新33回生))。

(2) 令和6年度総会、講演会等に関する件 (案)

和田校長先生の講演会および校長就任祝賀会を行う予定。

(3) 令和7年度総会、講演会等に関する件 (案)

内部講師:関克典先生 (新34回生)、外部講師:岩手医科大学歯学部の新任の歯科補綴学分野教授を予定。

(4) 会長・監事の選出に関する件

会則、規定により、2023年6月10日の総会において会長1名ならびに監事2名の選挙を行う。告示の書面は4月下旬郵送物に同封し会員に送付。候補者は5月末日までに事務局まで文書により、届け出るものとする。立候補者が無い場合には、現会長 (中野廣一) ならびに村上修現監事および小豆嶋正典現監事の続投可否を次期幹事会に諮り、可ならば幹事会推挙案として、総会に上程することとなった。

(5) その他

郵送物の送付を辞退した会員の扱いについては、会員名の名簿掲載は残すこととなった。

3. その他

次回役員会 (令和5年度第1回幹事会) は本年5月下旬に開催することとなった。

事務局からのお知らせ

■ 会計からのお願い

年会費のご納入が未だでございましたら、下記口座へ5,000円のお振込をお願いいたします。銀行口座からの自動振替制度のご利用が便利です。事務業務も大変簡素化され助かりますので、お手続きをよろしくお願いいたします。

■ 「銀行振込み口座」

東北銀行 大通支店 (支店コード103)

(普通) 3162801 歯科医師石桜会 会計 赤坂俊彦

■ 「口座振替依頼書」のお手続きの問合せ・送付先

〒020-0016 盛岡市名須川町29-2 赤坂病院歯科

歯科医師石桜会 会計 赤坂俊彦 宛

TEL: 019-624-1225 FAX: 019-623-1825

■ みなさまの声をお寄せ下さい

本会についてのご意見、ご要望、会員名簿のご訂正や名簿に掲載されていない岩手中高卒の歯科医師情報、会員のお悔やみ情報などがありましたら事務局までお知らせください。

歯科医師石桜会事務局

〒020-0837 盛岡市津志田町2-1-70

くまがい歯科クリニック内

TEL / FAX: 019-632-1188

E-mail: tetsu-tetsu@wish.ocn.ne.jp

編集後記

新型コロナウイルス感染拡大により、歯科医師石桜会におきましても令和元年度総会・講演会を最後に開催中止としておりましたが、令和5年度につきましては実開催にて行う予定としております。多くの先輩、後輩の先生方とお会いできますことを役員一同、楽しみにしております。 (西郷史郎 記)